

3. 利用しやすい学校のトイレの整備について。

- (1) 子どもたちの声は届いていますか。
- (2) 現在の洋式化率など整備の状況と課題、今後の方向性について。
- (3) 職員用トイレの整備状況について。

【答弁】

それでは、3. 利用しやすい学校のトイレの整備について。の(1)から(3)につきましては、関連いたしますので、一括してお答えさせていただきます。

学校トイレにつきましては、従前は便器に直接肌が触れる洋式トイレは避けられる傾向が見られましたが、最近は、ライフスタイルの変化により、家庭でも洋式トイレが主流となり、子どもたちが学校の和式トイレを嫌がり、トイレに行くことを我慢するなど、健康面からも懸念されているところでございます。

老朽化している学校トイレにつきましては、日常の清掃活動によりトイレ環境をきれいに保つように努めておりますが、子どもたちからは「汚い、暗い」などのイメージがあるように聞き及んでおります。

このようなことから、本市では、平成13年度から23年度にかけて、多目的トイレの整備など各学校で1箇所のトイレ整備を完了しており、引き続き、平成24年度から令和元年度にかけて、各学校の整備箇所を2箇所に増やして、洋式化改修、乾式化改修など快適なトイレ環境の整備を進めてまいりました。そのうち、小学校3校におきまして、職員用トイレの整備を行っております。

しかしながら、本市の学校トイレの洋式化率は、令和元年度末現在で、小学校で33.8%、中学校で33.6%となっており、依然として低い状況でございます。

本市教育委員会といたしましては、利用しやすい学校トイレの整備につきましては、子どもたちの健康を守る重要な課題の一つと認識していることから、学校からの要望や意見も参考にしながら、今後も引き続き、計画的に快適なトイレ環境の整備に、取り組んでまいりたいと考えております。